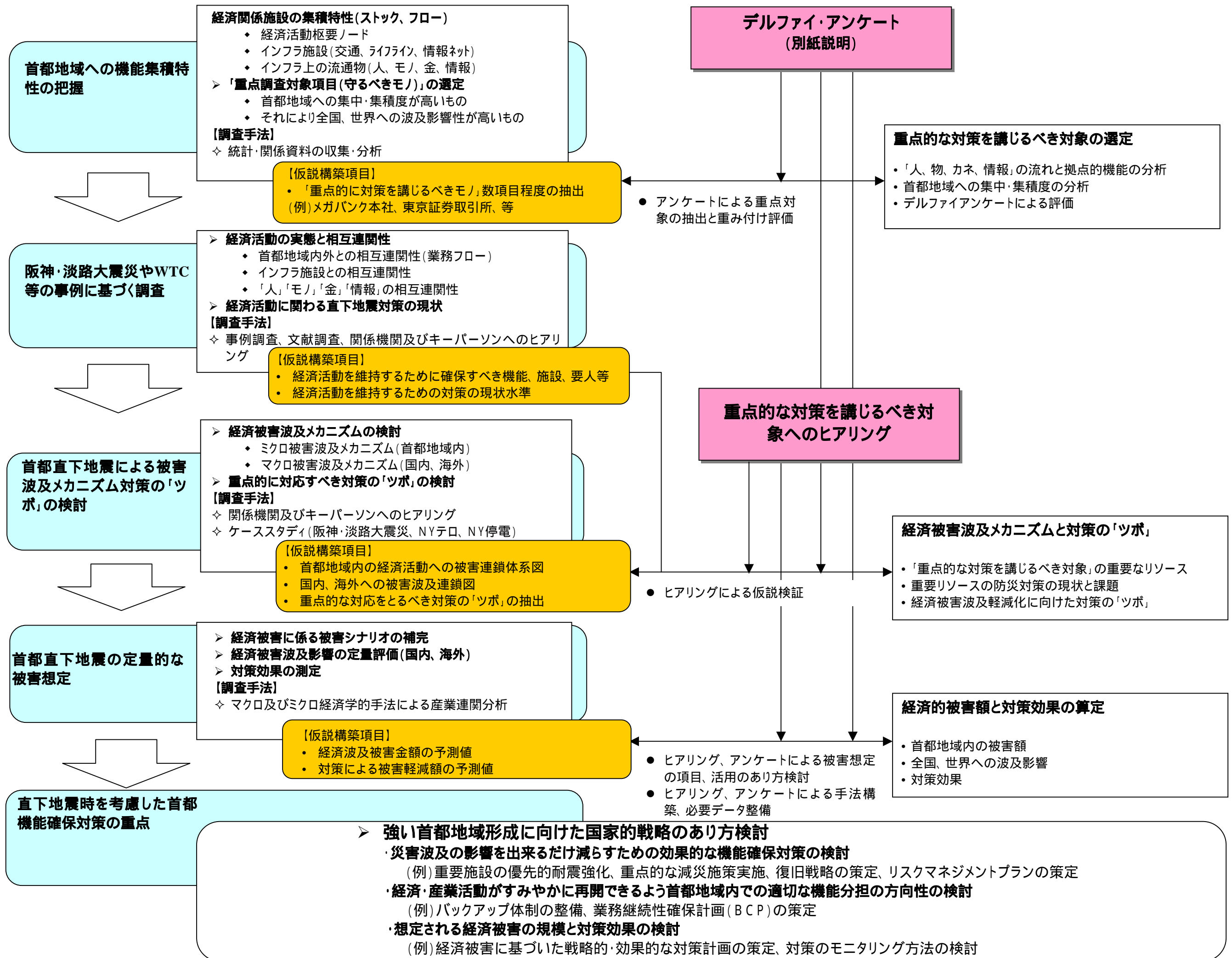


# 経済分野の重点調査拠点施設について

内閣府（防災担当）  
作成資料

# 1. 経済分野の検討フロー



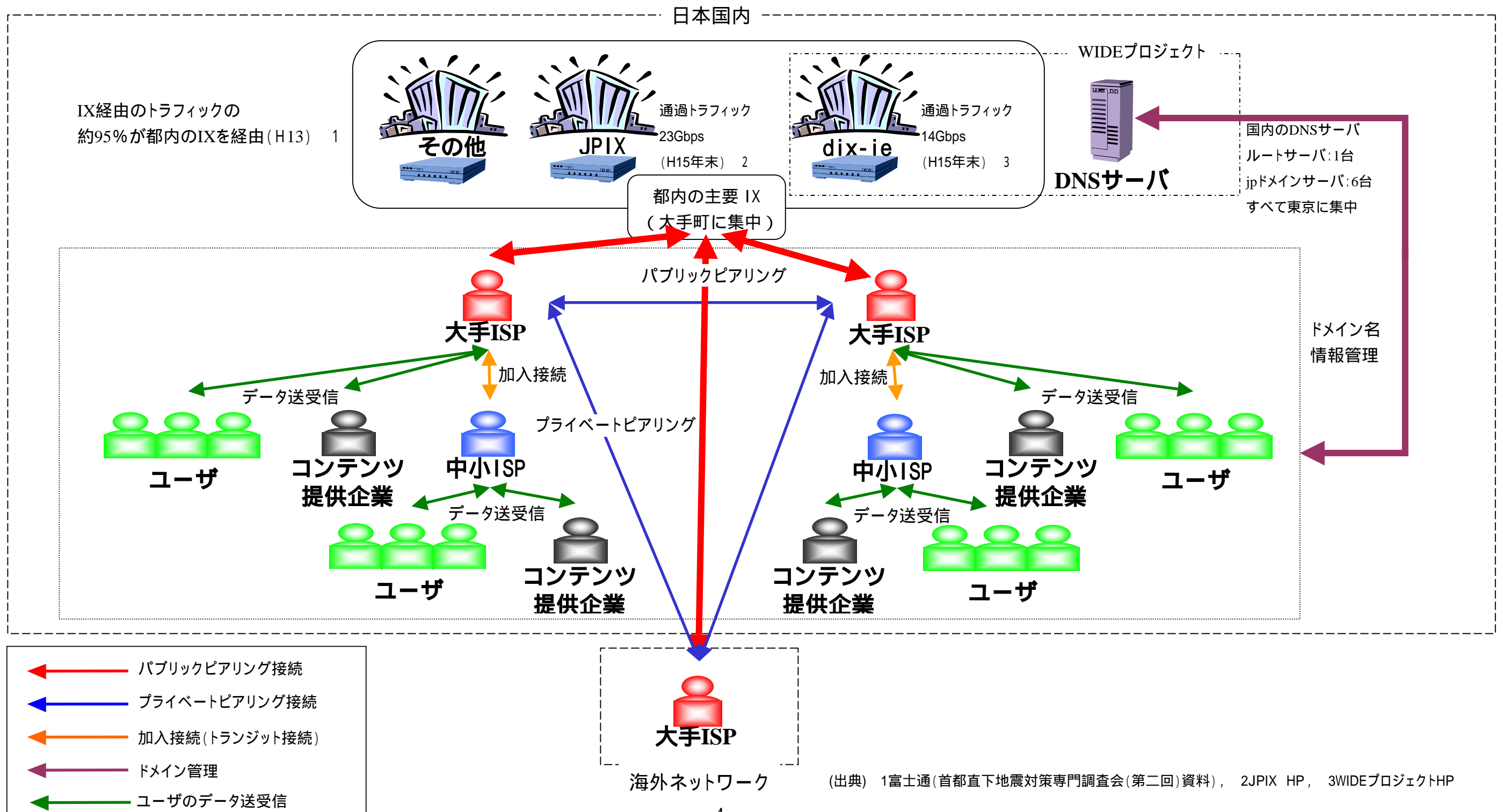
## 2 . 重点調査対象選定の考え方

- ・首都地域を取り巻く人・モノ・金・情報の流れの中において、中枢的で唯一の役割を担い、取扱量の大多数が集積している拠点施設は、被災時の影響が首都地域内はもとより、全国、海外へと広域的に波及影響する危険性が高い。このような拠点施設を「重点調査対象」として選定する。
- ・加えて、人・モノ・金・情報の流れを円滑に動かすエネルギーとして、情報通信、電気、水道等のライフラインを供給する拠点施設についても、上記により抽出される経済拠点機能の活動を支える必要不可欠なリソースであると捉え、「重点調査対象」と考える。



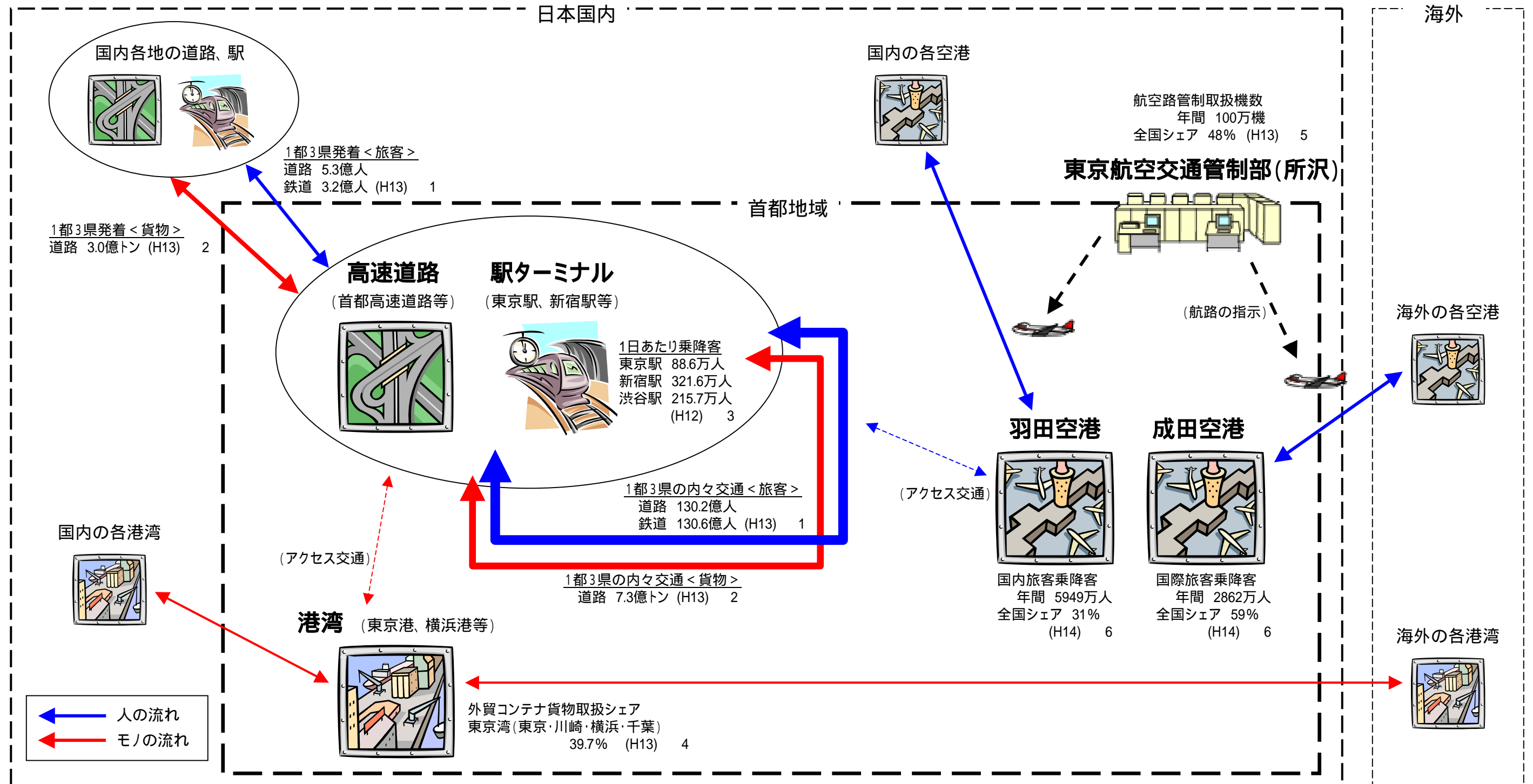
(2) 経済活動におけるインターネット通信の流れ(概要)

- ・ インターネットにおける情報通信の流れの概要を示すと、以下の図ようになる。内容は大きく、ピアリング(パブリック・プライベート)、加入接続、ドメイン管理、データ送受信に分かれる。
- ・ パブリックピアリングはIXを介した大手インターネットサービスプロバイダ(ISP)間の接続、プライベートピアリングは大手ISP間の直接接続を指す。ピアリングを行うことで他ISP傘下のユーザとのデータやり取りが可能になる。どちらのピアリング形式を用いるかはISPによる(両方用いているISPも多い)が、この機能図の中でIXが大手ISPおよびその下の中小ISP相互の接続の中核となる非常に重要な施設であることがわかる。
- ・ 外部への接続手段をもたない中小ISPは、大手ISPと接続契約を結ぶことで、外部との接続を行っている。
- ・ DNSサーバはデータの送信が行われる際に、宛て先を検索し、送信ルートの決定を行う重要な設備である。管理は大手IXの一つdix-ieと同じくWIDEプロジェクトにおいて行われている。



### (3) 経済活動における人・モノの流れ(概要)

- ・ 首都地域には、道路・鉄道・港湾・空港の交通における拠点施設が集中しており、人・モノの流れ(交通量)の大多数が集積している。
- ・ 国内交通(首都地域の内々交通、首都地域と全国を結ぶ内外交通)においては、首都高速道路などの道路施設、鉄道における重要駅ターミナル、特定重要港湾(東京港など)、羽田空港が、それぞれ人流及び物流の結節点の役割を担っている。
- ・ 日本と海外を結ぶ重要な結節点となる特定重要港湾や成田空港も、首都地域の近郊に位置しており、日本における国際旅客・国際貨物シェアの多くを占めている。
- ・ 航空路管制は所沢の東京航空交通管制部で行われており、日本上空及びその近辺を飛行する航空機の大半は、この管制部からの指示がない限り運行が不可能である。



(出典) 1:平成13年度旅客地域流動調査, 2:平成13年度貨物地域流動調査, 3:駅別乗降者数総覧2003, 4:国土交通省港湾局計画課, 5:国土交通省航空局HP, 6:平成14年分空港管理状況調査